

電気通信大学 平成17年度シラバス

授業科目名	コンピュータリテラシー		
英文授業科目名	Computer Literacy		
開講年度	2005年度	開講年次	1年次
開講学期	1学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	専門科目-専門基礎科目-必修科目		
開講学科・専攻	情報通信工学科		
担当教官名	柏原 昭博		
居室	西2-119		

公開E-Mail	授業関連Webページ
kasihara@ice.uec.ac.jp	

【主題および達成目標】
<p>【主題】 学習や研究の道具としてコンピュータを使いこなす。</p> <p>【達成目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コンピュータシステムやオペレーティングシステムUNIXの基本事項 ・ 文書の作成などの情報の生成 ・ ファイルシステムによる情報の蓄積や管理 ・ ネットワークを用いた情報の発信や受信 ・ 文書の清書 ・ ネットワーク社会におけるセキュリティやモラル

【前もって履修しておくべき科目】
なし

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
なし

【教科書等】
渡辺成良・若月光夫・織田健 / 共著 「UNIX コンピュータリテラシー（第2版）」（共立出版）

【授業内容とその進め方】

【授業の進め方】

- ・ 授業担当教員による概略の説明
- ・ 実際に操作を行い、確かめながら、自習形式で学習
- ・ Webclassを用いて授業開始後と終了前に簡単な復習テストを行う
- ・ TAによる学生からの質問に応じた指導

【授業内容】

- ・ 本学ネットワーク利用ポリシー
- ・ システム利用の基本事項
- ・ 文書の編集・日本語入力
- ・ 電子メール
- ・ UNIXの基本事項
- ・ ファイルシステム
- ・ 情報倫理
- ・ 文書の清書
- ・ コンピュータネットワーク
- ・ Webページの作成
- ・ 環境設定

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

【成績評価方法】

- ・ Webclassを用いて授業開始後に確認テストを、終了前に簡単な復習テストを行う。
このテストを行うことで出席点を与える。
- ・ 授業には特別な事情がない限り出席すること。
- ・ 演習課題のレポートはすべて提出すること。
- ・ これらの条件を満たした学生について、
復習テストの出席点とレポート点で50点満点、
期末試験の結果を50点満点として合計し、
成績をつける。

【評価基準(最低達成基準)】

以下の到達レベルをもって合格の最低基準とする。

- ・ UNIXの基本コマンドを使用することができる。
- ・ 漢字仮名混じりの文書の作成、編集ができる。
- ・ ファイルシステムを理解している。
- ・ 電子メールの送受信ができる。
- ・ 計算機の利用におけるモラル、セキュリティー、
ネットワーク利用ポリシーの基本事項を理解している。

電気通信大学 平成17年度シラバス

【オフィスアワー：授業相談】

適宜相談に応じるが、電話や電子メールなどで事前にアポイントを取ること。

【学生へのメッセージ】

- ・UNIX を使った経験のある人はほとんどいないので、コンピュータに初めて触れる人も、気後れすることなく、積極的に学習に取り組んで欲しい。
- ・実際にコンピュータを操作し、体験的に学習をすること。

【その他】